

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第6号

果樹

発行日 平成28年 8月25日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net/agri/>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ りんご 早生種の熟度は平年並からやや進んでいます！適期収穫の徹底を！！
- ◆ ぶどう 全般的に熟期が早まっています！！食味を確認し適期収穫を！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定点観測地点(表1)の果実肥大(横径)を県平均でみると、いずれの品種も概ね平年並からやや大きくなっています。本年は開花が早く、初期の果実肥大も良好だったことから、やや大きめの果実肥大となっています。4月中下旬の凍霜害と開花期の降雨、低温によると思われる奇形果やサビ果が県内広く確認されていますので、見直し摘果を実施しましょう。

(2) 果実品質

岩手県農業研究センターの「つがる」の果実品質をみると、硬度はやや低め、糖度は高く、デンプン指数は平年並となっています(表2)。

今年の開花は早まったものの、7月まで高温干ばつぎみで経過した昨年と比べて、極早生品種の収穫は遅くなりました。よって、早生種の収穫期は、平年並から例年よりやや早まると思われます。ただし、気温の高い天候が続いているため、着色の遅れ、早生種で果肉への蜜褐変の発生が懸念されます。長期予報によると気温の高い日が続き、日照時間は平年並からやや少ない予報となっており、着色が遅れる可能性があります。適期の着色管理並びに適期収穫に努めましょう。

表1 りんごの果実肥大(横径)状況(8月11日現在)

(単位:mm)

8月11日時点の生育状況	つがる					ジョナゴールド					ふじ				
	本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)
岩手町	75.9	79.0	75.3	96	101	70.5	75.8	73.9	93	95	66.5	69.9	66.7	95	100
盛岡市	79.9	80.8	75.5	99	106	79.4	78.6	74.2	101	107	73.6	75.0	67.9	98	108
紫波町	79.1	76.1	78.8	104	100	74.3	74.1	74.2	100	100	75.6	72.4	70.1	104	108
花巻市	86.5	84.0	77.5	103	112	76.2	77.2	76.4	99	100	67.3	69.5	67.4	97	100
農研センター	81.8	81.2	78.1	101	105	78.1	76.0	75.2	103	104	73.2	74.1	69.0	99	106
北上市	—	—	—	—	—	84.1	82.3	78.7	102	107	78.2	73.7	72.5	106	108
奥州市前沢区	82.0	80.0	78.7	103	104	80.0	76.4	74.6	105	107	72.6	71.5	70.5	102	103
奥州市江刺区	77.4	76.5	74.9	101	103	77.5	78.8	74.7	98	104	66.9	70.0	65.9	96	102
一関市花泉町	80.8	82.6	77.9	98	104	75.0	76.8	74.4	98	101	65.7	67.9	65.8	97	100
一関市大東町	—	—	—	—	—	77.9	78.5	73.7	99	106	73.5	71.6	68.5	103	107
陸前高田市	78.2	83.2	77.5	94	101	80.0	79.4	73.5	101	109	72.2	72.8	67.1	99	108
宮古市	76.3	79.7	74.8	96	102	79.7	79.6	75.3	100	106	78.9	75.5	68.8	105	115
岩泉町	—	—	—	—	—	77.1	78.3	71.8	98	107	76.9	70.9	67.0	108	115
二戸市	—	—	—	—	—	74.6	74.9	74.0	100	101	70.3	74.5	67.9	94	104
県平均(参考)	79.6	80.2	76.8	99	104	77.4	77.7	74.6	100	104	72.2	71.9	68.2	100	106

表2 「つがる」の果実品質経過

(岩手農研)

調査日	満開日 起算日数	硬度 (lbs)			糖度 (Brix%)			デンプン指数		
		本年	前年	平均	本年	前年	平均	本年	前年	平均
8月1日	86	18.7	20.1	20.4	11.0	10.6	10.1	5.0	5.0	5.0
8月11日	96	17.9	18.8	18.2	11.4	11.6	10.7	4.9	4.9	4.9
8月21日	106	16.6	16.6	17.5	12.6	12.3	11.3	4.7	4.4	4.6
9月1日	117		15.4	15.9		14.3	12.5		3.7	4.1
9月11日	127		12.6	14.0		15.5	14.2		1.1	2.3

※ 満開日:5月7日

※ 平均は、平成23年から27年の調査値の平均

## 2 管理作業

### (1) 早生種の着色管理

葉摘み作業が遅れている場合でも、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。高温が予想される日には、極力、果面の温度が上がる午後から実施しましょう。

### (2) 早生種の収穫

すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。

※ 詳細は、7月28日発行の「農作物技術情報第5号 果樹」をご覧ください。

### (3) 「紅いわて」の収穫について

「紅いわて」は着色の良い品種であるため、着色のみで収穫を判断し、収穫が早すぎてしまうと食味が劣り、品種の評価を落とすことになります。食味を重視し、表3を参考に収穫を行ってください。ただし、系統販売等、輸送して販売を実施する場合はデンプン指数2～2.5、直接販売を実施する場合はデンプン指数2程度を目安に収穫を行ってください。

表3 「紅いわて」の収穫期の目安

満開日 起算日数	満開日※	満開日起算 による収穫予想日	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	デンプン 指数
130～140日	5月6日	9/13～9/23	13以上	13以上	2～2.5

※: 満開日は、農業研究センター観測日

### (4) 中生種の着色管理

ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉回しと同時に適度な強さに葉を摘みます。

イ りんごの着色適温は10～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。

### (5) 「ふじ」の着色管理

ア 「ふじ」は、着色期間が30～40日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9月下旬～10月上旬）と10月中～下旬の2回に分けて葉摘みを行います。1回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2回目は適度な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたなら葉や枝カゲを残さないよう玉回しを行います。

イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなり果実の着色や蜜入りが劣り、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出ますので注意してください。

## 3 病虫害防除および気象災害対策

### (1) 病虫害防除

今後の気象条件によって、斑点落葉病や褐斑病、ハダニ類等が発生することがあります。予察情報等を参考にして、必要な防除を実施しましょう。農薬を使用するに当たっては、使用基準（倍率、収穫前日数等）に十分注意してください。

## (2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

## (3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

## (4) 日焼け果

今後も気温が高く推移する見込みのため、日焼け果の発生が懸念されます。前号で対策について記載していますので参照してください。

# ぶどう

## 1 生育状況

8月15日時点の定点調査地点における「キャンベルアーリー」の果実品質は、果実肥大、糖度ともに平年より高くなっています。特に糖度は昨年と同様に平年より大幅に早く上がっています(表4)。また、着色開始は全般的に平年より早い状況でしたが、一部、品種で着色の遅れがみられ、8月17日に本県に接近した台風7号等、まとまった雨により裂果の発生が懸念されます。

## 2 収穫

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると商品価値が落ちるので、適期収穫に努めましょう。

※ 詳細は、7月28日発行の「農作物技術情報第5号 果樹」をご覧ください。

表4 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(定点調査地点:紫波町赤沢)

	8月15日現在				
	新梢長(cm)	節数(葉数)	房長(cm)	果径(mm)	糖度(%)
本年(H28)	152.6	16.5	16.0	20.1	12.8
前年(H27)	114.5	15.2	16.7	20.0	13.0
平年	133.6	17.3	15.5	18.9	8.5
平年比	114%	95%	103%	106%	151%
前年比	133%	109%	96%	101%	98%

次号は9月29日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

### 熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

## 6月1日～8月31日は 農薬危害防止運動期間です

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

中央農業改良普及センター・県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。